

京都市バスの路線・ダイヤの 在り方に関する検討委員会

令和5年2月15日

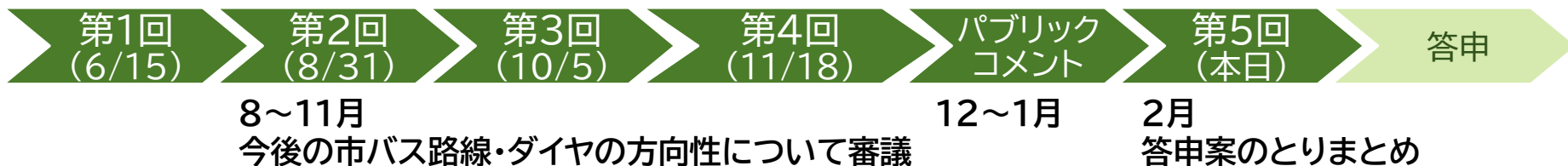
京都市交通局

- 「今後の市バス路線・ダイヤの在り方」(素案)に対する市民意見募集の結果について
- 「今後の市バス路線・ダイヤの在り方」答申案について

これまでの議論や市民意見募集の結果を踏まえ、答申案を取りまとめました。

この案についてご確認いただき、更に追記や修正等の必要な点がないかなど、ご審議をお願いします。

◆ スケジュール等



目次

- 1 第4回検討委員会の
主なご意見から** …4ページ
- 2 市民意見募集の結果
について** …9ページ
及び資料3
- 3 今後の市バス路線・
ダイヤの在り方
(答申案)** …10ページ
及び資料4

01

第4回検討委員会の 主なご意見から (今後に向けた考え方)

主な意見		今後に向けた考え方
<p>路線・ダイヤの見直しに関するご意見</p>	<p>路線のネットワークとダイヤは、中心部ではよくできたサービスになっているが、周辺部には課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 多くのお客様にご利用いただいている現在の市バス路線ネットワークを基本に、必要となる取組を加える方向で、検討を進めます。 • 沿線の状況や人口動態、ライフスタイル等の変化、また、駅前広場への接続強化による鉄道駅へのアクセス向上、朝夕ラッシュ時間帯と昼間時間帯のニーズの違いといった点も踏まえ、より効率的で利便性の高い路線・ダイヤ編成となるよう検討を進めます。
	<p>今後、外郭線の外側で土地の高度利用が進み、人口や就業者が増えてくると思われる。増加する需要への対応として、鉄道駅との結節強化を推進するべきだ。</p>	
	<p>周辺部では、近くに買い物をする場所が少なく、買い物目的や敬老乗車証を使ってバスを利用する方が多い。地域のニーズに合った路線・ダイヤを検討していくべき。</p>	
	<p>利用者の属性や質が変わってきている。通勤や通学だけでなく、昼間時間帯の活用も考え、既存の店舗や様々なサービスとも連携しながら、新たな目的地を作る発想も必要である。</p>	
	<p>駅へのアクセス時間は地域によって差があり、今後の課題になると考えられる。</p>	

主な意見		今後に向けた考え方
観光に関するご意見	<p>最近は平日においても、週末と同程度の人出がある。観光客対策として、平日でも臨時バスの運行や減便した系統の復便が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光のご利用は回復基調を見せていますが、先行き不透明なところもあり、しばらくは、オンシーズンとオフシーズンの需要の変動が大きいと見ています。当面の間は、既存系統の増便や「楽洛ライン」などの臨時便の運行に努めるとともに、ご利用の回復の動向を見ながら、お客様のニーズに対応した観光系統の運行を検討していきます。 各停留所の時刻や各系統の運行経路、停留所の位置などの情報をオープンデータとして公開し、経路検索サービスを提供する事業者が便利なアプリ等を開発しやすい環境を整えます。
	<p>観光客への案内で困るのは、京都駅と龍安寺又は清水寺と金閣寺を結ぶ直通系統がないことである。</p>	
	<p>観光客に対しては、GTFS-JPに基づき整備されたオープンデータが活用されることで、分かりやすい情報を提供できる。</p>	

主な意見		今後に向けた考え方
<p>情報発信に関するご意見</p>	<p>子供の頃の体験は就職先を選ぶ際にも影響がある。若者と協働で未就学児・小中学生に参加してもらえるようなイベントやSNSでの発信などを充実させて、バスや地下鉄のご利用を促すべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年代の方に市バスをご利用いただくため、交通局ニュースや交通局ホームページ、SNSなど、多様な広報手段を活用し、また、イラストを用いて視覚的にも分かりやすい情報を発信します。 いただいたご意見も参考にしながら、市民の皆様により市バスに興味を持っていただけるよう、また、より幅広い皆様に伝わるよう、情報発信の工夫に努めます。
	<p>「見える化」の取組のように、イラストを用いて情報発信することは良い。公共交通を利用しない方からも、バス車内やLINEニュースは印象に残っていると聞く。</p>	
	<p>SNSを活用して視覚的にホームページに誘導することが重要だと考えるが、SNSの流行は数年単位で変わっていくので、トレンドを捉えながら発信しなければ、届けたい相手に届かない。</p>	
	<p>視覚障がい者の方など、情報弱者になりやすい方にも目配りいただき、誰でも分かりやすい「見える化」が必要である。</p>	

第4回検討委員会での主なご意見

主な意見		今後に向けた考え方
子育て世代への取組に関するご意見	高槻市営バスの子育て世代割引運賃制度のように、子育て世代にバスに乗る習慣を身に付けてもらうことで、高校進学時の通学定期券購入に繋がる。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の方により安心・快適にご利用いただけるよう、また、未来を担う子どもたちにこれからも長くご利用いただけるよう、いただいたご意見は今後の検討の参考といたします。
	出産から小学校入学前にかけては住む場所を考えるタイミングであり、この世代に対する支援が充実していることは魅力だと思うので、検討いただきたい。	
利用者の行動変容・新規開拓に関するご意見	今はバスを利用していないが、家族が利用していたり、将来利用するかもしれないのでなくなると困る人の協力をどのように得ていくか。利用の新規開拓の中には、利用だけではなく、幅広く支え方を考えていくことが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 市バスをはじめ、公共交通はお客様のご利用で成り立っており、たくさんのご利用をいただくこと、継続したご利用をいただくことが公共交通の維持、発展につながります。「歩くまち・京都」の理念のもと、外出や移動の機会に公共交通の活用を促すなど、幅広く情報発信に努めてまいります。
	市民や観光客に何らかの行動変容をお願いしていくことにより、長年培われた京都の公共交通システムの維持発展にも繋がる。今後の政策を展開するうえで留意してほしい。	

02

市民意見募集の 結果について

…資料3参照

03

今後の市バス 路線・ダイヤの 在り方(答申案)

…資料4参照